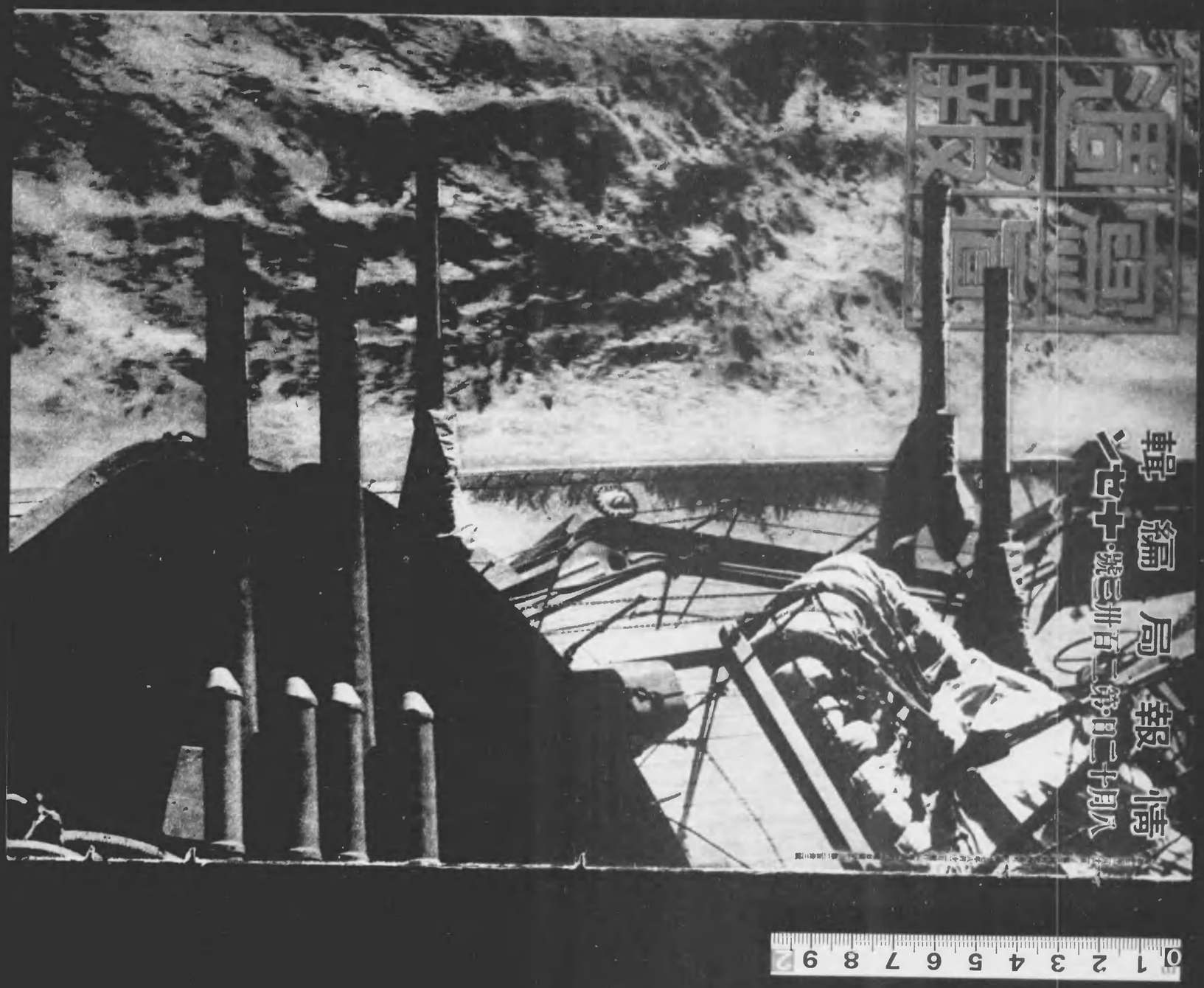


アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

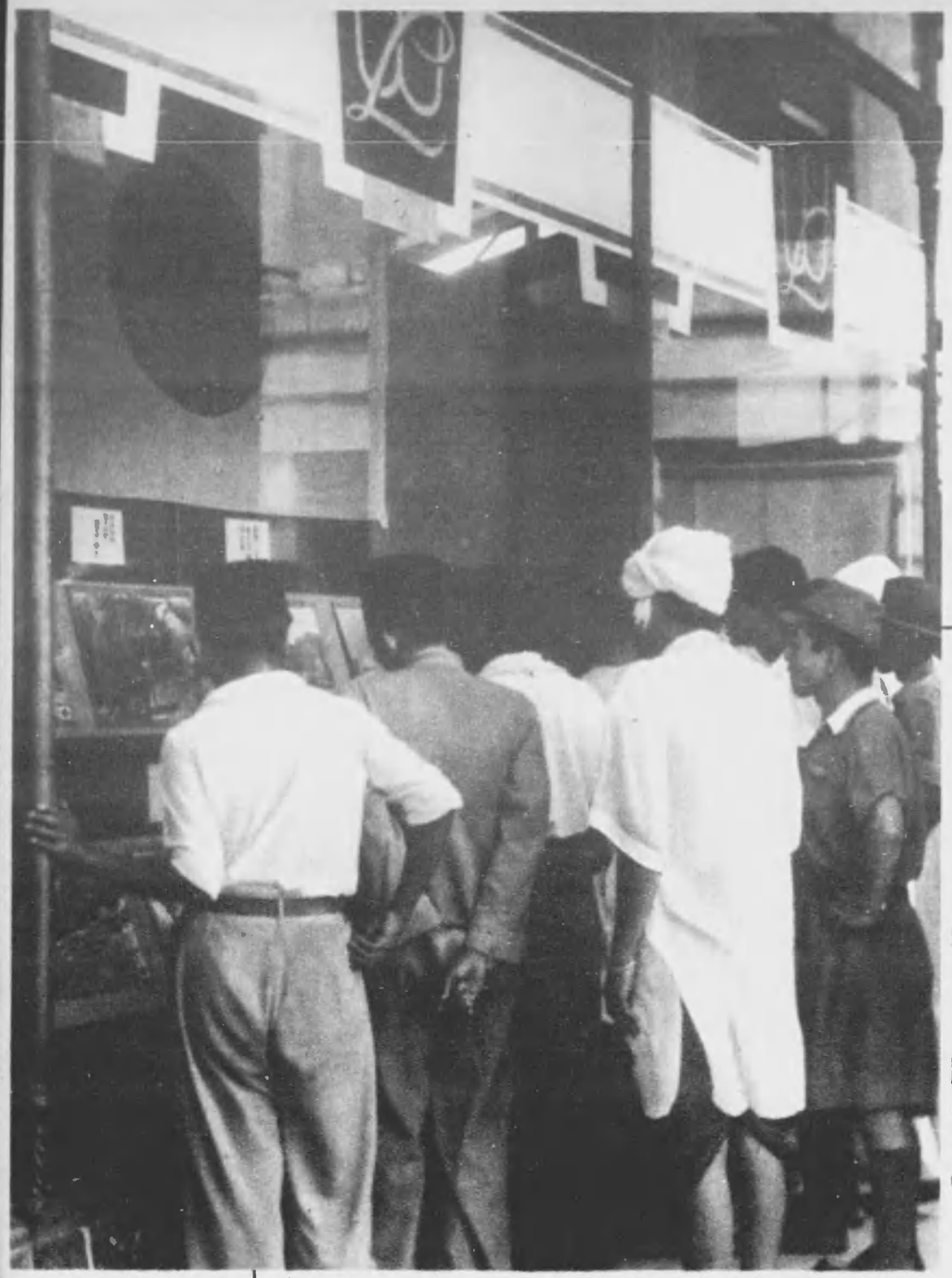
時の立札

ガバと大地に伏せれば
ムッと衝く草いきれ、眼もくらむ照り返し
劍は萎え、銃も熔ける
敵陣にそゝぐ兩眼に滲み入る汗
手も離せず、ぬぐひもあへず

× ×

なんの諸君、銃後にあって
手に扇を持ちながら
これしきの暑さ

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



日本色に榮へる昭南島

日一日、日本色を増してゆく昭南市の盛り場や街の所々に寫眞速報の掲示板や節約寫眞がある。寫眞のいれ墨る度にマレー人、インド人、華僑などは各國語で書かれた說明を丹念に讀んではまた寫眞に見入る。輝かしく生々しいわが戰果や、戰爭下日本の微動だもしない國情紹介の寫眞が報道されるたびに、彼等はむつかしい文字がわからなくても寫眞からちかに日本の認識を深め、新生昭南島の新らしい意義が彼等にもはつきり解るやうになつてきた

昭南市の街頭で　撮影　陸軍報道班

南を指す

□ 現行機上に赤道を通過する一行——左端 鈴木企業院總裁

□ スマトラ島ムシ河——パレンバン攻略はこの河の遡行によつても行はれた

□ ジャヴァ島バタヴィア 海の彼方にはるばるやつてゝ来たかに樹が多い

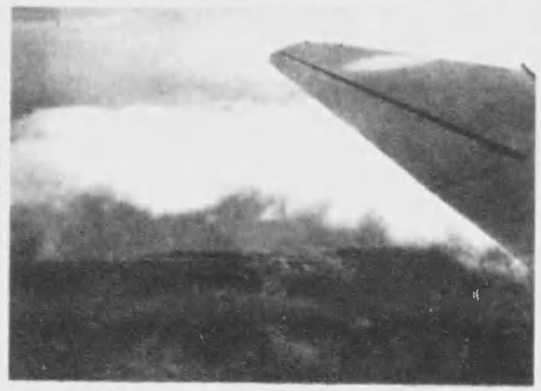
ハンマーを振ふ者

鈴木企業院總裁談

私は七月初め編隊を立つて昭南、スマトラ、ジャヴァ、ボルネオ、セレベス、フィリピン等、南方占領地一帯を一巡して建設工作に邁進してゐる軍民活動の情況を視察してきました

そこで私がごく短期間でしたが一巡してきた視察を述べますと、軍政治下の住民といふものは、何しろ地域も廣大なのであり、從來の統治の仕方もそれ〴〵異つてをり、それ〴〵民族の歴史も、文化も生活も違つてゐるので、その統治の仕方といふものも、なかなかむつかしいと思ひますが、現に海、日本軍に對して絶對的な信頼を持つてをり、皆日本軍の治下にあつて、その生に安んじてゐます。また精神的には戦争の惨禍の復興、開發といつたことに協力してゐる狀態です。將來この住民を日本の生活に合ふやうに導いてゆくことが必要であると思ひます

現地の兵隊さんは、各〻軍人勅諭を本戦して、士氣は非常に昂揚してゐます。ですから、いろ〳〵の復興や開發には内地では殆んど想像のできないほど活潑な活動をしてゐて、無から有を生ずるやうな狀態であります。これはひとへに兵隊さんがすべて生命を投げ出して事にあたる愛國の精神と不屈の



□ セレベス島メナド 海軍落下傘部隊はこの空から飛び下りたのだ

□ ティモール島 白い建物、廣い道路、緑の樹 ここでは比島再建の熱らしいふるまひ

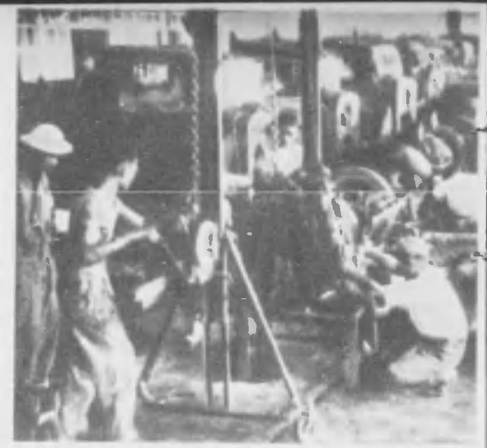
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

快速調の比島建設

⇨野ざらしで高級車がズラリと並んで修理を待つてゐる

比島作戦がたけなわ、マレー作戦がようやくかたづいた東亜戦争の初期、敵軍・敵中車・自動車等の機動力が驚ろ倒的の優勢を誇称したことはたしかだ。しかし、それが機械化部隊の縦々たる戦果の裏には様の下の力持として、黙のにしむ努力があつた修理部隊の活躍は忘れられない

比島方面軍のこの修理部隊は皇軍のマニラ進入と同時に敵軍の自動車工場を押収、直ちにバタアンに進撃する皇軍車輌の修理をする一方、敵側が破壊し去つたおびたゞしい自動車の修理



も車は比島労働者を使つて敵が破壊したタンクの鐵片を一枚々々リベットを打撃して修理しはじめた。はがされた鐵片はスタラップとして内地に輸送され、毎鐵塔を通れば、やがて軍艦の、砲塔の、戦車の、砲弾の一部となつて活躍するのだ

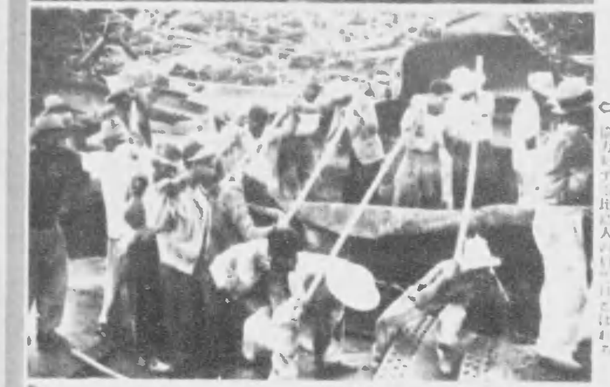
とこゝには戦場の花々しい面は少しもないが、それだけに皇軍無敵の強さの裏にある地味な面が躍動してゐるではないか

（マニラ・渡辺南海雄）

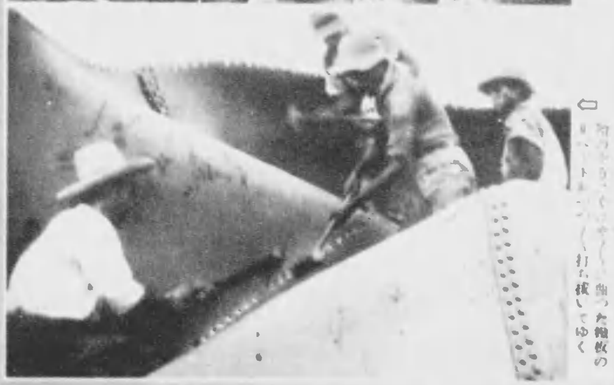
⇨

⇦工場で示す。敵軍これ等らまでゆく

⇦山に流れたガーム樹の二百数本を日に日にかゝる大変な



⇦ゆりあげる比島人の行列は日々はるか



⇦河辺の砂をそこやこゝ掘つた鋼板の[illegible]トを[illegible]打ち積してゆく

⇨「快々的だモ、いゝか」支那人相手で鍛つたことのある兵隊さんはつい支那語が飛び出す。比島人はその雰囲気で何の意味かわかるらしい

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

フィリピンの看護婦さん

ラユマ
○○兵站病院

よそにつこう笑ふ。快復期の兵隊さんたちは半後の一とときを院内の樹陰でフィリピンの看護婦さんにたすけられて歩行の練習だ

ここには約二百人からのフィリピン看護婦さんが日本の看護婦さんの指導の下に、簡単な注射から兵隊さんの身の廻りの世話まで一日とも惜しむ程。看護の不自由な間では兵隊さんのかゆいところへ手のとどくといふわけにはなかなかいかない。しかし毎日の日課がきまれば自然になれてさまつきまこつきまこつい

兵隊さんは「これで満足」と云ふ。とうとうとうとうたれた支那語で喋り出したかと思ふと、比島娘はパッパッとやる。兵隊さんは自分で出来ることは、お前フィリピナだったのかとテーム

マニラ郊の高原で咲く頃になると、帰りん嬉れに兵隊さんは早速練習だ

日曜には白衣の弟子仲間に看護婦さんは日本語の特訓だ

日本の看護婦さんは今日もお母さんに赤ん坊をお見舞

日本の看護婦さんの手とい手をあれこれ助手、比島娘は一生懸命

久宗・浜屋両特派員

× × ×

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ペナンの風

陸軍報道班員　荒木猛

彼南名所

英人は、さう殖民地政策の上から、英語で名所といはれてゐるものに、蛇寺、水源池公園、彼南ヒル、タンチョン・ビンガの海水浴場、支那人の極樂寺等がある。いづれも、日本人の眼からは病んとまやかしと見られる代物ばかりである

蛇寺は田圃の丘にある切妻屋根にかぎ、たゞ支那の僧侶が飼ひ慣らしてゐるいくらかの毒蛇がゐる、それだけである

水源池公園は、こゝにある貯水池が有名なのであるが、これも特別にその方面に無知な者ならば、さ知らず、一般日本人にとつて、さほど感銘されてゐるくの味もなく、ことに、ある成の薄しさも、染て、唯人造的ばかりの彼等に淋んで見せた何一分の一の有味もない

また、彼南ヒルも、彼南ヒルとは、この薄しさ、そのあまの眺望と云ふ事だけのことだが、あまりの山よりの日本には帰さ抜けてきまとある。、眺望も西方内海を一度ぐるまはした眼には、いま、彼等中のことをいふ山岳にわが皇軍は大作戦を行ひつゝあると考へるその海面戦場に、くさほども感心は出来ない眺望である

タンチョン・ビンガの海水浴場といつても、海は狭く、白砂等了の美しさに及ぶべくもない。アイリイタムの極樂寺に至つては、何が名所であるやら、由来もその理由も、甚だ不明確な存在である。彼南ヒルの麓の急傾斜に添つて支那寺らしい極彩色の御堂を建て乗れてゐる。が安置された佛像等も、すべて泥細工に彩色したもので、その表情は疾患者を表はすどころか、下手な道化がねらひ損ねたやうな調子である。腰模も乱さい。がこれらの名所を、彼南のマレー人共は、世界第一等の良き所かに自慢するのである

以上のやうにわれ〳〵が彼南について話したのを何時か耳にしてゐた運轉手のハミは、さて日われ〳〵を水源池公園に伴れて行き、その道路の手前に自動車を停めてから、良い所をたせる、といひながら、われ〳〵を案内して、ぜんまいの林の中の小徑を、水源池の流れへ下りて行つた

小時いまでに熱帶樹の生い茂つた涼谷の底は今も涼しい。ハミは先づ、この涼しさを無言でわれ〳〵に誇つてから、次きには言葉を尽似でもつて、その流れの清冽なことと、冷たいことを自信たつぷりに誇つて見せた

『若、御早くこゝに来て、マスター方が水浴されたら、きつとブル〳〵顫はれますよ』この流れは實にフェリイ・ケットです』

ハミは、さい御指を立てゝ見せた

われ〳〵は彼らの言の誇りを、到底、救ひ難いもののやうに思つた。熱帶地の彼らには、かうした涼しさや冷たさが何よりうれしいのかも知れない。だが彼らは、世界の北には、年中雪と氷の、冷い生活をする國のあることさへも知らないのではなからうか。若しさうなら彼らの誇はやはり嗤はれていいものである。夏を知り、秋を知り、冬を知り、春を知る日本人にはすたれには、もつと大きな自然が必要である

帰途の自動車の中で、われ〳〵の一人はこんな話をした

『ある日本人の第二世がね、僕に、水源池公園へ行かう〳〵といふんだよ。何か面白いことでもあるのかと訊ねたら、はて、あの花園の泉水にあつた蓮ね、あの蓮の花が咲いたから見に行かうとかういふんだ。そして、なほ、蓮の花は綺麗ですよ、日本にはありませんでせう、とかうたからね。實際このへんの住民は日本に對して何ひとつ知つてもやゐない。まあ今日となつてみれば、それも有難かつた譯だが、でも、どう考へても當傳では英米にしてやられてゐたね。とにかくこれは、早く何んとかしなければならぬ問題だと思ふよ、僕は』

街から拾ふ

レストラン・キン・ルックの前に自動車を停めると、七、八歳から十四、五歳までの、裡にサロン一枚といふ、うす汚いインド人の子供達が群つて来て、扉を開けたり、手にした小箱で車體や踏板を磨いたりする

皆、根からの乞食の子とも見えぬ顔立をしてゐるのだが、彼らは、客が食事を終つて出て来た時に、煙草の一本とか、錢の一錢とか二錢とかをねだるのである

半年ちかく彼南にゐて、キン・ルックへ行く度數が重なつてみれば、いつかこれらの子供達にも馴染ができ、子供達のために決していゝ結果を産まないとは考へつゝも、つい、ねだられゝば時に五錢、十錢と、無意味に錢を與へたりする

かうした子供達の中に、ひとり際立つて旅人の氣持に侵入した、機敏な、眼付の鋭く愛くるしい坊主頭の子供がゐた。旅人の客を送り出した時に、旅人は子供からかう小さな兩手を差し出されて、離ることが出来なかつた。いや、五錢か十錢を與へれば済む何時もの氣持で帰つて来ることが出来なかつた

『よし。若しお前が俺に従いて来るなら俺を食はしてやる』

子供は

『オーライ』

と、にこやかに應へて、旅人がゆるく踏む自轉車の側に直ぐ續いた

キン・ルックのある愛南路から、旅人の宿舎のあるマカリスター路まで、歩けば約三十分の路程である。南洋の、よく晴れた日のまつ晝間の炎天。その中を、子供は坊主頭に玉の汗を滲ませ、裸い足を引き摺るやうにして自轉車について歩いた

旅人はこの三十分の間を、黙つてペダルを踏みながら、戰時である内地の、わが子の毎日を思ひやつた。すると、側を歩いてゐるインド人の子供が、何かの天災を受けて孤児にでもなつた自分の子かの錯覚が起る

この時、彼女の肉親は彼女のこの生涯は、今は世を呪ひ人を呪ふ頃

期の中にこの世を去つてしまつた。彼女の親兄弟は彼女が

つて、彼女の親兄弟は彼女が

にの世を明け立蔵な碑を

建てゝやつたこれおさ聞も

ないことでもつた。彼女の墓の上に

奇な木が生えまして見る人も成

長し、やがて花咲き實を結ばれ

れがまた何人も見て事を聞いた事

い珍らしい不思議な果物でもつたこと

唯再生する事が出来るなら果物

でもよい、さあ誰も人々に愛好されれ

る物になりたい、といふのが生前彼女

がひ續けてゐた未來への悲願であつた。

のの、國に殘して來た當年十歳になるあの子に、動作や、身體全體の感じがよく似てゐるのである

旅人は、この子供から物乞ひをされることが何より苦しく、以後は、つとめてキン・ルックを避けてゐたが、仕事の關係で、遠くからの客があつたりすると、どうしてもその氣持を冒して、このレストランに行かねばならなかつた

頼りに内地のことの思はれる日があつた。しかも旅人は、どうしてもキン・ルックに行かねばならぬ事情を背負つてゐた。旅人は故意と自轉車で出かけた。が、纔成な子供の眼をくらます事とは出来なかつた

『マスター、砂糖一本。秋、ノーマカン』

説傳のンアリド

寄稿者　崎山軍曹

ふとしたことから私は果物の王ドリアンの傳説を聞いた事があるのまい縁つてドリアンの紹介にしよう

今は貴族家のよる国家にドリアンといふ絶品があつた。未だ嘗て味はれた彼女の肉は二百年の昔、身に生めた程に美かつた。十七、八の花盛りにも彼女に見向きをする男もなかつた。但一日時し思ひに耽り作て彼女

のであつた

宿舎に帰つて来てから、旅人はこの子に食事を與へ、それから水浴をさせた。子供は水浴を終つて應接間に来ると、直ぐ、灰皿に溜つた吸殻を見つけて自分から拾てに行つた。その後姿が、また旅人に堪らない感じを抱かせた

種々たづねてみると、子供の名前はムハメド・アリイ、當年十一歳。父はベンガル人で自動車の運轉手であるが、開戰と同時に多分昭南島へ行つたものと思はれ、その後の消息は解らない。家には二人の母と三人の妹達を、一人の母は病氣、一人の母が果物の行商をしてゐる、といふことが解つた。そして、二人の母といふ關係だけは、日本人である旅人にはどうしても理解することが出来なかつた

『アリイ。お前が若し働く氣持があるなら、この家の給仕に使つてやつてもいゝが、どうだ働くか？』

アリイは眼を輝かして應へた

『オーライ、マスター。是非つかつてください。應接間もベランダも毎日掃除して綺麗にします。それから、お錢を下さつたら、みんなお母さんに渡します』

『家が遠いから、毎日通つて来るのは大變だぞ。お前はこの家でマカンして、この家で寝ることになるが、それでもいゝか』

『オーライ、マスター。併しけふは、お母さんが心配するから、一度帰つてお母さんに話して、明日の朝から参ります』

旅人は、アリイに二十錢の錢を與へて一先づその家へ帰すことにした。旅人が教へると、アリイはきちんと足を揃へ

『マスター、さやうなら』

と、丁寧に頭を下げてから、宿舎を出て行つた

旅人は、ベランダに行つて、門を出て行くアリイの後姿を暫く眺めた。アリイは炎天の下に胸を反らし、大きく腕をふり、輕く口笛を鳴らしながら、並木の蔭に見えなくなつて行つた。旅人は、それでもなほ、二十分以上も、同じ姿勢で、同じ並木の方を眺めたまゝでゐるのであつた

大東亞戰爭日誌

—七　月—

二十四日　●敵空軍は、二月二日以來ニューギニア島、ソロモン諸島、濠洲北端ポーン島方面敵航空基地に對する攻撃　なほ引に味方基地上空における交戰により、七月二十日までに撃墜三百二十九機を撃墜、百九機を撃破。この間わが力五十四機を失ふ

二十七日　●七月十八日敵船舶撃沈破綜合戰果発表後、さらに新水艦の撃沈破せる戰果左の如く判明

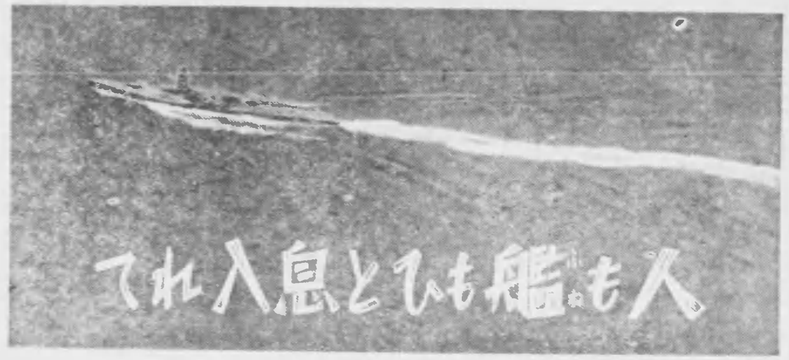
（一）米本土西岸シャトル方面＝六月八日六千トン級一隻、六月二十日七千トン級一隻

（二）濠洲東岸シドニー方面＝六月一日より六月十六日までに、二万トン級一隻、一万トン級二隻、七千トン級一隻、五千トン級一隻

（三）アリューシャン列島ダッチハーバー方面＝七月十六日六千トン級一隻

三十一日　●敵空軍は、二十五日、二十七日、二十八日濠洲東北部の要衝タウンスビルを夜間爆撃し敵航空基地その他重要軍事施設に相當の損害を與ふ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



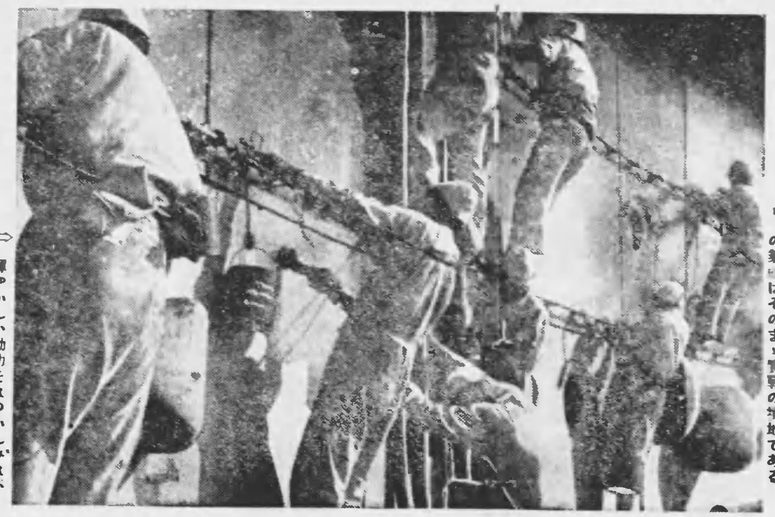
人も艦もひとしく息入れて

[illegible]

⇦ れいまた體當りて行かん

大東亜戦争開始八ヶ月、かつて見られざりし比類なき大海戦を所期通りに立派に成功せしめたる海軍部隊の前に生きたる色とりどりの世界、ようやくたる何時敵の再建艦隊、蠢動するやも知れざる。かかる時に際してこそ凛然たる英気を養ひ、われら海軍は見敵必殺の意気に燃えて日々鍛錬する

⇦ 母艦の甲板上では、體操によつてくろがねの身體を鍛ふ



⇦⇨ 輝やかしい勲功をなつかしみながら海の勇士は母艦のペンキを塗る

⇨ 無念無想たゞ一撃で敵を葬さん。剣道の氣魄はそのまゝ實戦の場地である

撮影 日本映画社

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

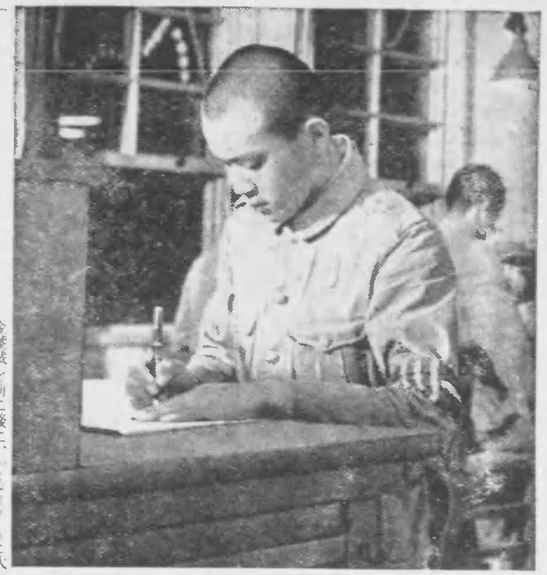
若の下臺武の櫻

觀

名古屋陸軍幼年學校

撮影　中村公一外

やはつと太陽に全身をさらして一二、三、四！戰車のやうな逞しい身體が唸りを生じて躍動する



金鋏鋏を前に後に、ぐるり〳〵と人車輪の離れ業、少年たちの腕にさいつの間にか軍金が入れられた

各自に定められた自習室には必要な書籍がキチンと取揃へられ、點呼の時間キチンと徒たちは學習に餘念がない

★

★

陸軍幼年學校入學志願者が毎年十日でしたが、今年は優秀な少年たち多數幼年學校の門を潜り、中學生徒達君は陸軍幼年學校の生徒を見たことがありますか。黒色で金ボタンのついたバンドをキチンと締め、白い手袋をはめ、襟に金で星がついた軍服で胸を張つて元氣に歩いてゐる中學生徒、あれが陸軍幼年學校の生徒です。

即ち、これらの小さな兵隊は、いつれも十二、四歳から十七、八歳までの若鷹達、早くから能と鍛錬になつてゐる陸軍將校を志ざしてゐる少年たち。

の作學期間は、三年間の中學校の生徒と同じ學科を修めなければなりません。

官學校の生徒となるには必ず試験を受けなければなりません。

なのです。

——軍人精神であるかどうかはその性ともいふ。又將校が優秀であるかどうかはこれによつて決まります。したがつて優秀な將校は幼年の頃からの教育如何によるところが少くありません。現在の陸軍幼年學校は、明治天皇のこのような思い思召に基づいて、明治十九年東京をはじめ名古屋、大阪、廣島、熊本、仙臺の六ヶ所に設けられたものでした。

わが陸軍將校の純忠の精神は、こんどの大東亞戰爭でもいたるところで遺憾なく發揮されてをりますが、これはつまり、將校たるべき者に對する不斷の準備と訓練の賜であつて、陸軍幼年學校こそ、その基礎的訓練を行ふ軍人精神の搖籃であるといへませう。

陣頭に立つ日を夢みながら、今日も觀武峯の原っぱに射撃訓練がくりかへされる

地點の測量を陸軍將校になるものの必修の球術による準備ことを引出して付近の地形を測量する生徒たち

華胄貴族の子弟ならまだ乳母よりは乳よりの年頃を、洗濯から縫ひの結ひまで一切の始末を自分でする

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

胸迫る子供たち

軍神岩佐中佐敬頌班

軍神の故郷新潟へ向ふ軍神岩佐中佐敬頌班、左から阿部さん、小野津さん、吉澤さん、一番右が塚越君の一行——上野駅にて

東京市青少年團から、十一軍神の生地に派遣した「軍神敬頌團」の第一陣、軍神岩佐中佐敬頌班は、七月二十九日軍神の故郷前橋市を訪れた

團長小倉育之助（六二）、團附山口公一（三三）の兩氏をはじめ、團員本郷青年團塚越通博（二四）、本郷少年團宗意操（一二）、同吉澤建（一二）の三君、小石川區、窪町少年團小野津薫（一二）、豊島區時習少年團阿部喬美子（一三）の兩嬢ら一行七名は、三日間に亘つて軍神の生家を訪ねたり、軍神を育んだ自然の環境に浸つてゐるうち、いま更なから軍神の偉大さに心打たれ、ありし日の軍神を偲んで感激に胸ふるはせた

眞珠灣の底深くその身は若櫻として碎け散つたが、殘した光りは永遠に消ゆることなく、軍神の魂は、その光を求める若きもの、幼きものの心に深く〳〵刻まれたのである

軍神の生家は、正門の右につたので直ぐわかりました。「軍神岩佐直治の家」と書かれてある生家にて

軍神岩佐中佐の生家を訪ねて

窪町少年團　小野津　薫

私達の乗つた汽車は、ようやくに前橋駅につきました。ここは中佐が長野県にいらつしやる頃、御帰省の度にこの駅で乗り降りなさつたかと思ふと私は何ともいへない感にうたれました。駅には城南國民學校の少年團の方がお迎への御挨拶をして下さつて、私達の方は吉澤さんが御挨拶をなさいました

やがて私達は軍神の生家に向つて出發しました。町を過ぎ田園を横切る中を通つて間もなく軍神の生家につきました。御門の右に軍神岩佐直治の家と書いてありさしたのですぐわかりました。私はその前に立つた時、心が自然に引きしまるのを感じました。かやぶきの御貴素なお宅でありましたが、物がよく整頓されてました。お家には御兩親とお兄様お二人がいらつしやつて快く迎へて下さいました。お座敷に上つて御挨拶をいたしました。團長先生が

「東京市八十五万人の青少年團を代表して、今日一日、御自分の子供にして、お話を伺ひたいとおつしやいますと、お父様も、お母様もほゝゑんでいらつしやいました。お父様は

こゝでは殆ど、お話しません。何でもお父様やお母様や先生の言ふことをよく聽いて物事をまじめにやることだよ

とおつしやいました。私達は、さんとうにさう思ひました。お母様は、また

「東京からもいまにきつと軍神が出ますよ。きつと出ますよ」

と力強くおつしやいました。

そのお言葉に私の胸は強く引きつけられてゐるように、感じられました。またお母様は、平生は無口の方でいらつしやるとお聞きしてゐましたが、私共のために御自分から進んでお話しして下さいました

「女は、男よりも毎日一時間半くらゐ早く起きて、まめに働くのですよ」

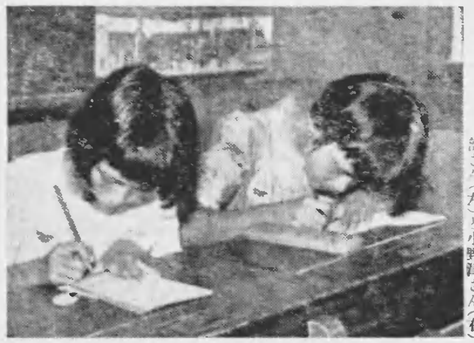
と慈愛のこもつたお聲でおつしやいました。私はこのおやさしい御心に眼頭が熱くなつて來ました。

私も軍神のお母様のやうに立派な人になろうと堅く決心いたしました

霊前にぬかづけば、蝋燭の焔の間から、最後の決心を強くかたどるお顔のお寫眞が、私の面をみつめてをられるやうにおもはれました。私の胸には、あの思ひ出深い昭和十六年十二月八日以來、大東亜戦争の幾度せられたその日の光景がはつきりと浮んできました

その特別攻撃隊として、ハワイ近海、ミッドウェー、ガダルカナル、ラバウル、東部ニューギニアの最後を遂げられた九軍神のお一人の御生家でありましたこのお前に立つていてゐる私は身も心もヒリヒリとひきしまつて固い〳〵決意が湧いて參ります

この一日こそ私には一生涯忘れることの出來ない思ひ出深い日となりました。



軍神の母校城南國民學校で胸章を授ける阿部さん（左）と小野津さん（右）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

城南國民學校に設けられた軍神を慕ふ者で、歌頌班の行は、ろ〳〵な遺品を見ることが出来ました

軍神の魂を心に刻み、少年たちは、毎日軍神と起居をともにするためにこの写真と答辞をお上座にいたゞきました

軍神の生家を訪ねて

本誌少年團　宮澤　論

汽車は前橋駅に着きました。一同は直ちに軍神岩佐中佐の生家に向ひました

今、私達が歩いてゐるこの道は、あゞし日の軍神岩佐中佐が、中學校へ通ふ時、又、兵學校からの帰郷の時、にこやかに踏みしめた道であると思ふと一歩一歩歩くにつれて、ひとりでに足に力がこもつて来るのを感じるのでした

やがて辿り着いた中佐の家は、草葺の質素な家でありました

お父様は、お縁側の上に端坐なさつて、こちらをぢつと御覧になつていらつしやいました。その左右にはお母様と二人のお兄様が、きちんと一列に並んで坐つてゐられました

やがて小金澤校長先生が

『東京の八十五万青少年團代表として東京からも軍神のやうな立派な方が出ますやうに、今日一日このお家の子供にしていたゞいて、御兄様のお話を伺ひ度いと思つて参りました』とおつしやいますと、お父様は

『東京からも必ず軍神が出ますよ』と申されました。そのお顔は静かで力強く、丁度熱言者のやうでした。又

『お父様お母様のおいひつけをよくきくことは、特別親孝行をしようと思はなくとも、それがそのまゝ親孝行なのです。直治はよく言ふことをきいたよ』

とおつしやいました。この有難い御教訓は、あたゝかく私達の心にしみとほるのでした。その時お母様は、お話を聴いてゐる私達を團扇であふいでくださつたり、冷い水を御馳走して下さつたりしました。私達はたゞ〳〵感激するばかりでした。やがてお母様は

『女の人は、男の人より毎日一時間か一時間半も早く起きて、まめに働かなくてはいけませんよ』といふ御教訓をくださいました

やがて御霊前にぬかづきますと、思ひ起こすことはあの昭和十六年十二月八日の發表でありました。あの大戦果が傳へられた後に

『わが方の損害飛行機二十九機、特殊潜航艇五隻未だ帰らず』

あゝ、五隻未だ帰らず。凱歌の陰に涙あり。何といふ沈痛な發表でせう。この特殊潜航艇五隻の中に、軍神岩佐中佐が、三千年來傳統の日本精神の權化として魂を水遠に留めつゝ乗つてゐたのでありました

私は、頭を下げて軍神岩佐中佐のお顔を拝しました

軍神の瞳には、温和味があふれ、烈烈たる氣魄がみなぎつてゐられた。これは堅い決意を胸の奥底に秘めてゐられるお顔でありました。御霊前には、中佐の偉大なる勲功を物語るやうな各方面からの花輪や切花が一ぱい置かれてゐました

やがて名殘りを惜んで私達一同は岩佐中佐の家を後にしました

私達の住む大東京には　上御一人の坐ます帝都八十五万の青少年團員は、書つて誇二、第三の岩佐中佐となるべきはずであります

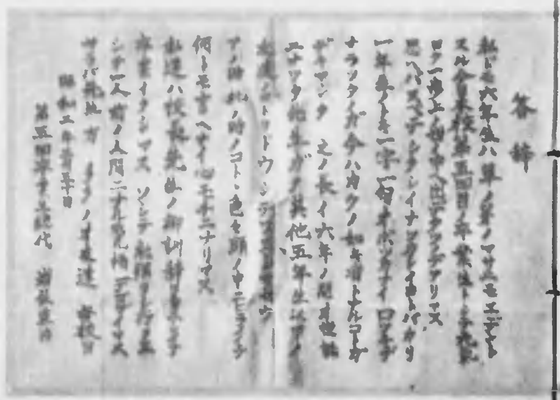
よし軍神とならなくとも、軍神その人のやうな精神で誇るべき神の國日本の光を輝かすべきはずであります

軍神岩佐中佐敬頌班團員は、この名聲を誇つた私は、この感激を水久に胸に抱き、一すじに軍神岩佐中佐のあとを少み追いと願つてやります

軍神の母校城南國民學校で胸一杯に聴き入る遺族の方々（左上家の方々）

陶追るる子供たち

軍神岩佐中佐敬頌班



答辞

私ども六年生八組ノ者ノマヘニ立チマスル金澤校第五四期ノ卒業生トナリました

ロク一年生ニ入ッテ中ヘ出テクラスアリマス

思ハヌスチテクシイナコトガイロ〳〵ガリ

一年生ノトキ一学ニ何ヲオボエタイ　ロクモ

ナラックガ今ハ内クノ知ル者ヨルコトガ

デキマシタ　之ノ長イ六年ノ間ニ他ノ

ニナツタ他ノ其他五年ノ知識

私達ハトトウシテ

アノ神ノ時ノコト・色ヲ思ハヤモラフ

何トモ言ヘナイ心ニ感ニナリマス

私達ハ校長先生ノ御訓誡ヲ東ネ子

本ヲイタシマス　ソシテ此頃ヨリ五

シテ一人　前ノ人間ニナリ先輩デアイマス

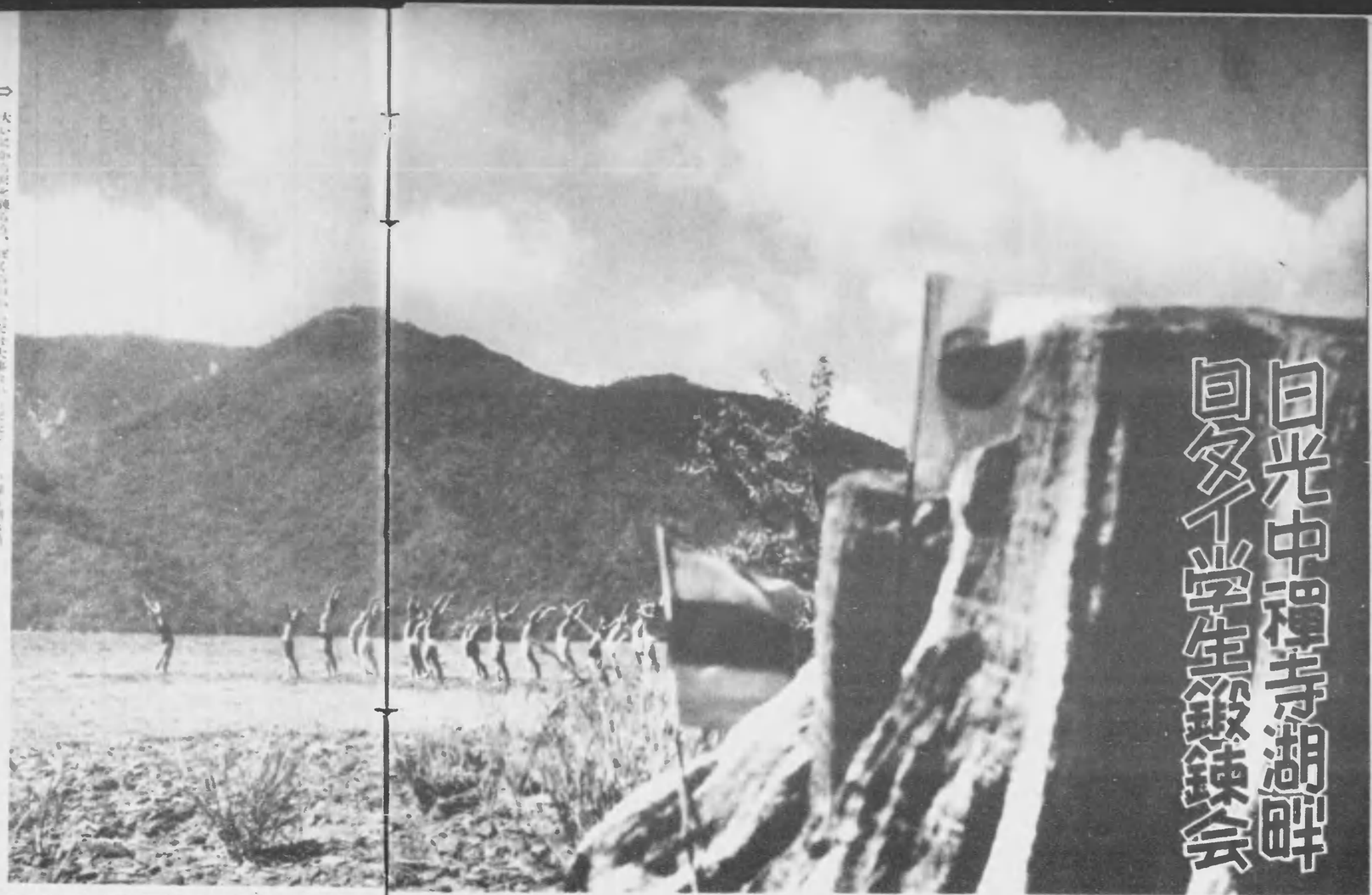
サラバ私ハ　オ　ヨウノ　ナ　私達　学校ヲ

昭和二十年三月十日

第五四期卒業生代　遊佐良治

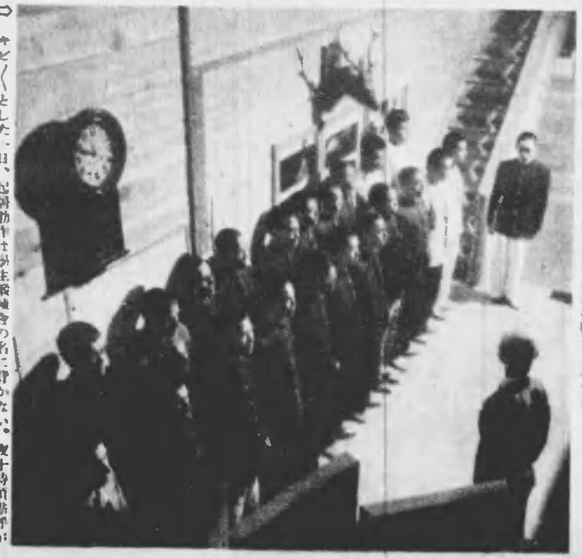
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

日光中禪寺湖畔 日々学生錬成会



⇨ 大いに日本精神を練るべく、ぼくらは大事な日々をただ今滝の畔の錬成

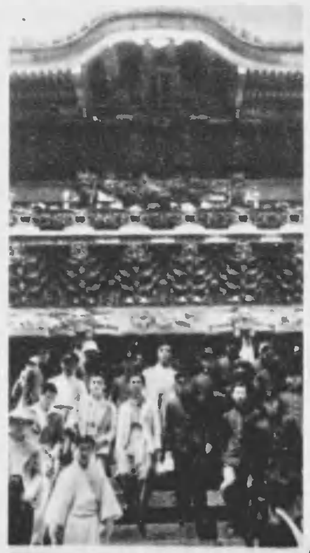
⇨ 日光の男女学生諸君、交歓はつて、楽しい除興交歓に夜を忘れる。なかでもプーサン・ニーケ君のタイ語はこの夜の華であつた



⇨ キビ〳〵とした一日、起居動作は学生錬成会の名に背かない。夜十時頃鐘が鳴つて、古参のサノン・チャンカセム君が塾監に今日一日の行事を報告する

⇧ 日タイの親睦をめぐつて語はそれからそれへと——左端ピブン首相の弟サタサンガ・ソンバット君、右端ワラワン殿下の御令子ブイブル・ワラワン嬢

⇨ 高僧の御説にも増して大切なのは開國盛民精神の交渡である。一日、東照宮殿に参拝し、この神殿に眠いた徳川時代の武士を偲ぶ



先ごろはピヤ・パホン中將の来訪、今度は廣田さんのタイ訪問と、このところ日タイの間柄は、人も羨む親密ぶりです。この美しい交歓がまたとない拍車となつて、日本は強い、日本は親切だと、タイ民衆の間に疑いふとなしに我が國への信頼感がだん〳〵深くなつてゆくやうです

このごろ、タイ民衆の日本語熱は盛んなものです。なぜ日本は強いのだらう、日本の高い文化はどうしてできたのだらう等々、これを知るには何より日本語を習はねばならぬ、できれば日本へ行つて勉強したい

さういふ氣持が特にタイの知識階級の間に期せずして強くなつてゐるといふことです。これといふのも、強く、正しく、そして親切な東亞の盟主としてのわが國の姿が、だん〳〵理解されてきた結果に外なりません

現在までのところ、わが國に來て希望の胸を躍らせながら學んでゐるタイ學生は約百六十人あまりですが、これらの學生はあらゆる學問の領域に亘つて知識を磨く一方、わが學生と魂の交際をしながら、日本精神の眞髓にふれようと努力してゐます

去る七月二十二日から一週間、奥日光『華頂山の家』で開かれた『日タイ協會主催の日タイ學生錬成會』は、日タイ學生親善の一つの催しでしたが、日本側からは東京外語タイ語科學生十五名、タイ側からも同じく十五名の學生が參加し爽涼な山の大氣を胸一ぱい吸ひながら、日タイの邁行たるべき心身を練磨しました

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

海に眺へる未来の海軍

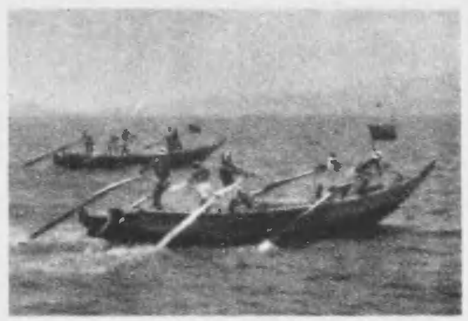
⇧ 東京市　西　欽也

七月二十日の海の記念日を迎へて、未来の海軍を夢見る大日本海洋少年團の豆水兵たちは、恐るべき「軍艦」、無敵海軍魂こそボクらの心と、横須賀の海洋道場に海軍旗を押し立てい、男児を各種の訓練を行ひ、天晴れ海國日本を背負つて立つ頼母しさを示しました上、左中

海を男だどんとゆく船だ

⇩ 岡崎市　水越喜夫

大東亜戦争下に二回迎へた海の記念日の七月二十日、東海の漁業國愛知縣では縣主催の下に海洋漁民を總動員して○○港に海洋錬技大會を開催、勇壮な和船五一隻の海洋錬技等をはじめ、綱もやく、やたう、舵打錬技など多彩な番組を繰展げて、水産報國への意氣を昂揚した下、左下



往年の海軍

本誌からあなたは何を學んだでせうか。

1 軍神岩佐中佐の勲功は　ミッドウェー沖海戦で敵米航母に止めの魚雷を放つた潜水艦長として？　特殊潜航艇による真珠湾急襲した特別攻撃隊員として？　ハワイ爆撃の飛行隊長として？　（19頁）

2 わが大戦果や戦争下に發動されたもしないわが國情紹介の寫眞が、昭南島現地住民の間に非常な評判です。これは寫眞といふものを初めて見るからなのです。　ひつかしい文字が讀めなくとも寫眞でなら日本の眞意がすかにわかるから。寫眞を見ると長生きをするといふ迷信から？　（3頁）

3 わが海軍が初來襲したタウンス・ビルはどこの軍事基地ですか。　（11頁）

4 陸軍幼年學校は我國に六箇所ありますが、その所在地は？　（14頁）

5 なぜ日本は強いのだらう。この鍵を解くためにタイの民衆の○○本○熱は驚んなものです　（20頁）

6 支那事變この方、軍神とあがめられた方は何人でせう？　（16頁）

7 戦車や装甲車、自動車などの機械化部隊が十二分に猛威を發揮したのは　満洲事變？　蘇天會戦？　青島攻略戦？　マレー作戦？　徐州作戦？　（0頁）

8 比島作戦？　（0頁）　わが國に留學するタイの學生の數は　約五十名？　約百六十名？　約三百二十名？　（20頁）

9 軍神岩佐中佐の故郷はどこでせうか？　（16頁）

10 日本の農夫は敵の何と戦つてゐますか？　（4頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか？

照準器

太平洋の海底を歩いてみたら

日本近海

⇦ 外務省

大東亞戰爭漫畫日誌

石川　進介

米本土近海

眞珠灣

アリューシャン附近

★表紙

都市動にあるわが戦艦○○の副砲と高角砲。副砲は戦艦にたゞある砲で、主として駆逐艦の奇襲に備へ、これを撃退するために用ひられる高角砲とは応射砲のことで上下にも左右にも、立體的に自由自在に敵機を撃つ砲である

（二聯装の砲）

撮影　海軍省

寫眞週報（義報數）

昭和十七年八月十二日印刷發行

編輯者　情報局

東京市麹町區永田町一

印刷者　内閣印刷局

發行者　東京市麹町區霞ヶ關

定價

一部十錢（送料一錢）

（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）

▲廉約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所

全國各地官報販賣所

書店・驛賣店

新聞販賣店

寫眞材料店

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫眞週報 昭和十七年八月十一日 第三種郵便物認可 昭和十七年八月十一日發行（毎週一回六曜日發行）第一卷 第四號

示せ貯蓄の底力！

大東亞戰爭 國債

郵便局売出
八月二十一日■九月一日

時戰

貯蓄債券・報國債券

売出・八月二十一日■九月二十一日

大藏省・遞信省・日本銀行・日本勸業銀行

内閣印刷局印刷發行

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/